

令和3年度事業報告

1. 事業実施状況の概要

令和3年度の事業実施状況概要は以下のとおりである。

令和3年度 事業計画実施状況

項目	実施状況
1. 広報・出版活動	
1) 「環境技術会誌」季刊発行	
第183号(令和3年4月)	・実施済(特集Ⅰ(年度末まで)廃棄物処理施設の自動化と維持管理)
第184号(令和3年7月)	・実施済(特集Ⅰ(年度末まで)廃棄物処理施設の自動化と維持管理)
第185号(令和3年10月)	・実施済(特集Ⅱ脱炭素—廃棄物処理分野の動向)
第186号(令和4年1月)	・実施済(特集Ⅱ脱炭素—廃棄物系バイオマス利用技術の動向)
2) ホームページの運営	・随時更新
3) メールマガジンの配信	・毎月1回配信(通巻No160 3月号まで配信済)
2. 研修会・講習会の実施	
1) 廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会	・第42回(令和3年度)中央研究集会 テーマ「廃棄物処理と脱炭素社会について考える」令和3年11月8日実施
2) 技術管理者CPDSの実施	・CPD記録の申請について(お願い)事務連絡実施(令和3年4月12日)
3) 廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会((一財)日本環境衛生センター共催)	・令和3年11月10日(水)～11月12日(金)、日環セ西日本支局(福岡) ・令和3年12月1日(水)～12月3日(金)、岡山商工会議所(岡山)
3. 各種表彰	
1) 環境大臣表彰	・藤田司八氏、宮治鉄夫氏2名を推薦(環境省から2名へ直接表彰状送付済)。
2) 生活と環境全国大会大会長感謝状	・古谷好男氏、関口好一氏、前田 岳司氏3名を推薦((一財)日本環境衛生センター理事長から直接表彰状送付済)。
3) 会長感謝状	・金森栄氏1名が受賞(協会から直接表彰状・副賞送付済)。
4) 年間論文賞	・令和4年2月14日に論文審査委員会を開催し選考、第4回運営委員会にて承認。
4. 地区協議会への支援	各地区協議会に対して、行事・講師派遣並びに財政的支援を実施予定。
1) 助成金	1) 助成金: 申請4件(茨城県、滋賀県、山梨県、東京都)
2) 講師派遣	2) 講師派遣: 申請なし(R2年度も派遣なし)
3) その他	3) 総会への出席依頼: 申請なし(R2年度も要請なし)
5. 環境省補助金交付事業	1) R3エネルギー回収型施設新設事業0件(R2からの継続事業2件) 2) R3エネルギー回収型施設改良事業9件(ほか継続事業11件) 3) R3廃棄物発電電力活用設備導入事業1件(第4次公募まで) 4) R3廃棄物処理熱利用設備導入事業0件(第4次公募まで) 5) R3廃棄物処理熱等有効利用実現可能性調査事業4件(第4次公募まで) 6) R4年度間接補助事業実施団体に申請(令和4年3月16日採用通知受領)
6. 技術支援事業	
1) 相談業務	・数件の電話、相談(メール含む)に対応(岡山市、平塚市、三重県環境保全事業団、日本郵船、東根市外二市一町共立衛生処理組合、山形県技術管理者協議会など)。
7. 事業推進のための会議等	・第34回理事会: 令和3年5月20日(連合会館) ・第35回理事会: 令和3年6月22日(社員総会終了後、連合会館) ・第36回理事会: 令和4年3月28日(連合会館) ・第12回社員総会: 令和3年6月22日(連合会館) ・第1回運営委員会: 令和3年5月14日(日環セ東京事務所) ・第2回運営委員会: 令和3年9月24日(日環セ東京事務所) ・第3回運営委員会: 令和3年12月9日(日環セ東京事務所) ・第4回運営委員会: 令和4年3月15日(日環セ東京事務所) ・編集委員会: 令和3年11月30日(日環セ東京事務所) ・論文賞審査委員会: 令和4年2月14日(日環セ東京事務所)
8. 関係団体への協力等	・廃団連主催新春講演会への参加(1/28)

2. 事業報告

2-1. 普及啓発事業

(1) 広報・出版活動

1) 「環境技術会誌」の季刊発行（4月、7月、10月、1月）

本誌は、紙面の充実を図り会員へのサービス向上を目的として、年4回発行した。

本年度は、特集Ⅰとして「廃棄物処理施設の自動化と維持管理」、新たに10月号から特集Ⅱとして「脱炭素」を特別企画テーマとして編集した。

第183号（令和3年4月）

第184号（令和3年7月）

第185号（令和3年10月）

第186号（令和4年1月）

（主な記事）

- ・廃棄物処理・維持管理技術に関する特集記事、報文
- ・専門委員会報告
- ・環境省等行政資料
- ・国内・海外の廃棄物関連情報

2) ホームページの運営

当協会の情報公開の場として、廃棄物情報の提供、会員との情報交流等を行った。

現在会員のページには平成28年度から廃棄物処理法入門コーナー、メールマガジンのバックナンバー、調査報告書等に加え、全方位検索型環境法令集を掲載している。

3) メールマガジンの配信

季刊「環境技術会誌」の補完及び会員へのスピーディーな情報発信のため、会員の希望者には毎月メールマガジンを配信した。

(2) 研修会・講習会の実施

1) 第42回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会（技術管理者 CPDS 認定）

本集会は会員はじめ廃棄物処理に関連する方々を対象として、最近の行政動向、最新の技術や話題の紹介を通じ、技術管理者としての資質向上を目的として開催した。

日時：令和3年11月8日（木）

会場：WEB 会議形式にて開催、参加者約100人

テーマ：①2050年CNと廃棄物処理システムの動向—中長期シナリオ
環境省環境再生・資源循環局

②廃棄物処理における脱炭素への取り組み事例など（4件）

2) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定制度の実施

廃棄物処理施設を適正に維持・管理するには、常に最新の維持管理技術や管理手法等を習得し、技能の向上を図ることが技術管理者にとって重要であり、平成24年度から実施している継続学習制度（以下「CPDS」Continuing Professional Development Systemの略）を、本年度も実施した。

この制度は、廃棄物処理施設の技術者が種々の講習会、研修会、講演会、シンポジウム

などの受講や活動成果の発表をした場合に、それらの学習記録を残し、必要により学習履歴を証明するシステムである。

3) 廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会（技術管理者 CPDS 認定）

廃棄物処理技術に関する最新情報を提供するとともに、廃棄物処理の現場で抱える様々な課題について講師と参加者が相互に事例紹介や情報交換を行う場として（一財）日本環境衛生センターと共催して実施した。

福岡会場：令和3年11月10日～11月12日

岡山会場：令和3年12月1日～12月3日

(3) 各種表彰

1) 環境大臣表彰の推薦

環境大臣表彰の中央推薦の基準に基づき、当協会会員等を推薦し、藤田司八氏、宮治鉄夫氏の2名が受賞した。

2) 第65回生活と環境全国大会（令和3年度）大会長感謝状受領者の推薦

大会長感謝状の中央推薦として、古谷好男氏、関口好一氏、前田岳司氏の3名が推薦され受賞した。

贈呈式：中止

3) 会長感謝状の贈呈制度

永年に亘り会の発展に尽力した会員1名（金森栄氏）に対し、会長感謝状を贈呈した。

贈呈式：中止

4) 年間論文賞（令和3年度分）の表彰制度

会員からの「環境技術会誌」を対象とした優秀論文を表彰した。

この賞は年間論文賞審査委員会・運営委員会において選考・決定し、最優秀賞1編、優秀賞2編、功労賞1編の合計4編を表彰した。

審査委員：横田 勇、根本康雄、河辺安男、杉山吉男、田所正晴

授賞式：中止

(4) 地区協議会活動への支援

地区協議会に対して、以下のように財政的支援を実施した。なお、コロナ禍の影響により講師派遣、総会への出席要請等はなかった。

1) 助成金：茨城県、東京都、山梨県、滋賀県

2-2. 調査・研究事業

(1) 環境省補助金事業

本補助金事業は、廃棄物処理施設で得られるエネルギーを有効活用し、エネルギー起源CO₂の排出抑制を図りつつ当該施設を中心とした自立・分散型の「地域エネルギーセンター」の整備を進め、さらに廃棄物処理施設で生じた熱や電力を地域で利活することによる脱炭素化や災害時のレジリエンス強化等にも資する取組を支援することを目的として実施している。令和3年度の新規事業としては、単年度事業5件、国庫債務負担事業9件、他継続事業13件の合計27件の事業を実施した。

2-3. 技術支援事業

廃棄物処理関連事業者の方々に対して、本会の長年にわたる活動実績を活かし、廃棄物処理施設の計画・建設及び運営に関する技術支援業務を実施した。

また、(一財)日本環境衛生センターから技術管理者講習講師派遣依頼があり、6名の講師を推薦して講義を実施した。

2-4. 事業推進のための会議等

(1) 第12回定時社員総会の開催

日 時：令和3年6月22日

会 場：連合会館

議事等：①令和2年度事業報告の件

②令和2年度決算の件

③令和3年度事業計画の件

④令和3年度予算の件

⑤その他

(2) 理事会の開催

1) 第34回理事会

日 時：令和3年5月20日

会場：連合会館

議事等：①令和2年度事業報告の件

②令和2年度決算の件

③その他

2) 第35回理事会

開催日：令和3年6月22日

会 場：連合会館

議事等：①役員選考の件

②その他

3) 第36回理事会

開催日：令和4年3月28日

会 場：連合会館

議事等：①令和4年度事業計画の件

②令和4年度予算の件

③その他

(3) 委員会等の開催

1) 運営委員会 年4回開催

議 題：①組織の運営・管理に関する事項

・事業計画、予算及び決算に関すること

・会員の増強に関すること

・地区技術管理者協議会の設置、育成、強化に関すること

- ②会則、細則、制度、内規及びその他の規定に関すること
 - ③研修会、講習会等の企画及び実施に関すること
 - ④会員の表彰等の選考調整に関すること
 - ⑤その他本会の目的達成のために必要な事業に関すること
- 2) 編集委員会 年1回開催(令和3年11月30日;日環セ東京事務所)
- 議 題:①環境技術会誌の企画、編集に関すること
- ②刊行物に係る業務に関すること

2-5. その他の事業

(1) 「廃棄物処理施設技術管理士」証明看板の発行

2-6. 関係団体への協力等

国をはじめ関係団体等が行う各種の活動・行事等の啓発活動等に対して協力を行った。

- ①廃棄物団体連合会など関連団体
- ②第65回生活と環境全国大会の協賛(会場開催中止、オンデマンド配信)
- ③その他関係団体の行事等の協力

2-7. 組織運営

(1) 財政の健全化

1) 入会促進

(一財)日本環境衛生センターの技術管理者講習修了者に対して、個人会員、団体会員及び賛助会員の入会を促進した。また、廃棄物処理に係る団体等に対しては、賛助会員の入会を促進した。

2) 新規事業の推進

令和4年度「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業)に係る補助事業者(執行団体)業務」に応募し採択され、引き続き令和4年度の新規事業を行うことになった。